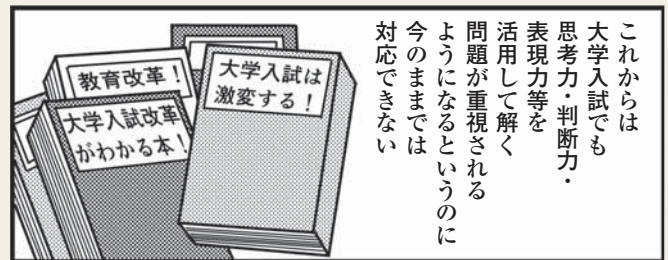


未来への学びに向かう学校づくり

県立K高校

漫画：前田 康裕

(熊本大学教職大学院 准教授)



職員室

うーむ
プロジェクトリーダーを
引き受けてはみたものの

どこから
始めれば
よいやら…

やっぱり
まずは
授業だよなあ

よし
主体的・対話的で深い学びの
授業改善に取り組もう！

ベテランの
槍宅先生に
お願いしてみよう

槍宅先生
今年度
授業の改善に
取り組んで
いただきました
のですが…

えっ？

やりたい人が
やればいいんじゃないの？

社会科教師
やりたくないぞう
槍宅 内造

学習指導要領が
新しくなりますし

思考力を
育成するような
授業に…

思考力って
言うけどさー

数学の
記述式の問題だって
微妙な感じに
なったし…

文科省の施策って
現場の実態が
わかってないよ

…

その前に
タブレットを
活用しなきゃ

今の時代は
ICTを使えないと
困りますからね

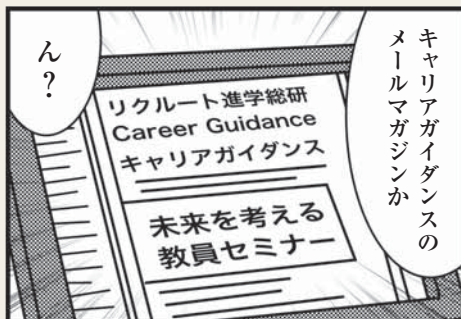
でもさー

わたし
苦手なのよ
ICTって

絶対
使わなきゃ
いけないって
わけじゃないでしょ

国語教師
かみでいいよ
紙手 飯代

生物教師
てくのひかる
手久野 光





さっそくですが
皆さんに
質問があります

皆さん
こんにちは
講師の吉良良介です

白川大学 非常勤講師
吉良良介



社会に
開かれた
教育課程
かな

今
流行の
「探究」
でしょ

主体的
対話的で
深い学び

えっ？
キーワード？

新学習指導要領の
キーワードと言え
ば
どんな言葉が
思いつきますか？



新学習指導要領の
骨子を
確かめましょう



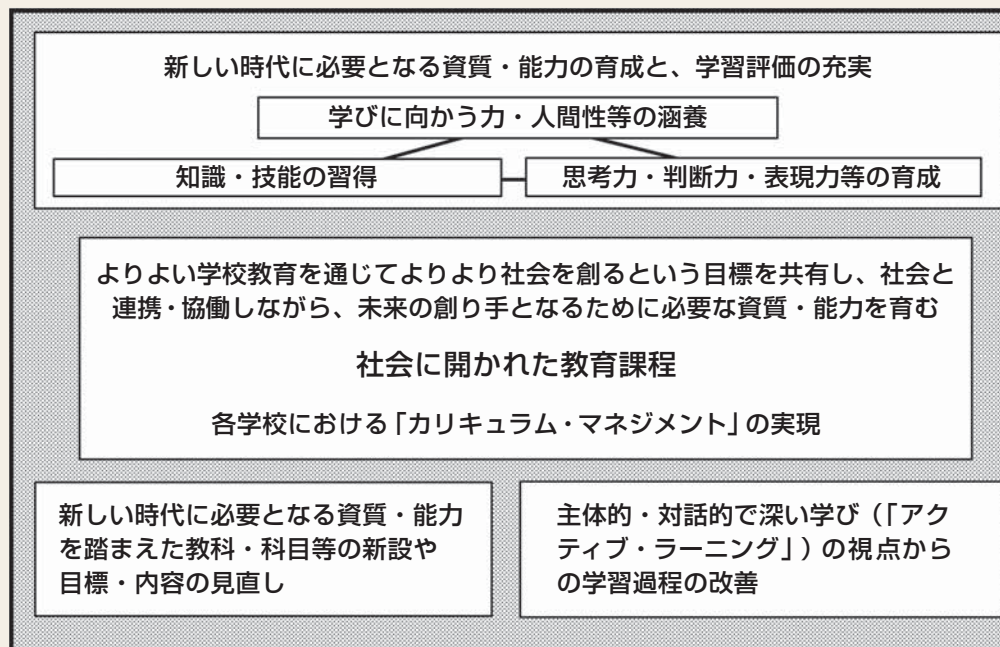
資質・能力

「資質・能力」
という言葉が
でませんでしたね

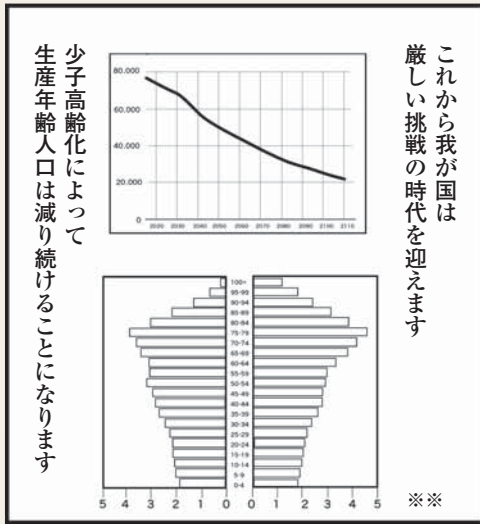


先生方からの
意見は
学習方法についてが
多かったのですが

ありがとうございました



※
ど真ん中にくるのが
「未来の創り手」
となるために
必要な資質・能力を
育むことです



理念！

確かに
あまり考えて
いなかった

資質・能力を育成する
という理念に基づいて

教育活動の質を
組織的計画的に向上させる
ための学校づくりが
求められているんです

理念
資質・能力の向上

また
人工知能が急速に発達し
テクノロジーが進化することによって
経済も社会の構造も大きく変化していくでしょう

しかし
人工知能がどれだけ進化し
思考できるようになっても
その目的の良さ・正しさ・美しさを
判断できるのは人間の強みです

もちろん
知識の獲得も
大切です

さらに
仲間と協働して
問題を発見・解決
していくための
探究型の学習が
ますます重視されて
いるのです

協働

学びに向かう力・人間性等の涵養

よりよい社会

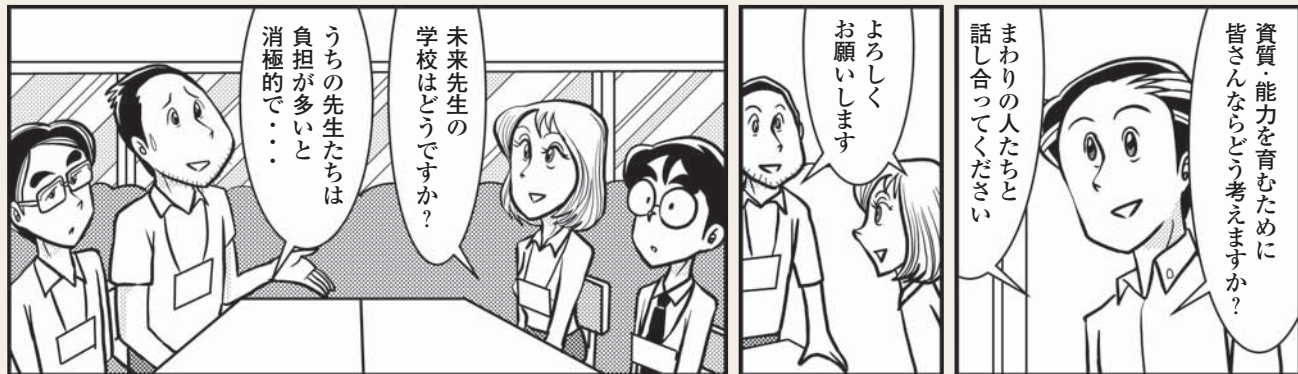
変化する社会に
柔軟に対応して
学び続ける主体性と
困難な問題を
協働して解決する
ための
リーダーシップや
チームワーク
思いやりといった
人間性が
求められるからです

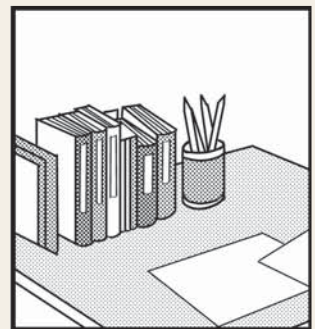
だからこそ
資質・能力の三つの柱の中でも
学びに向かう力・人間性等の涵養は特に重要です

社会的変化

知識・技能の習得

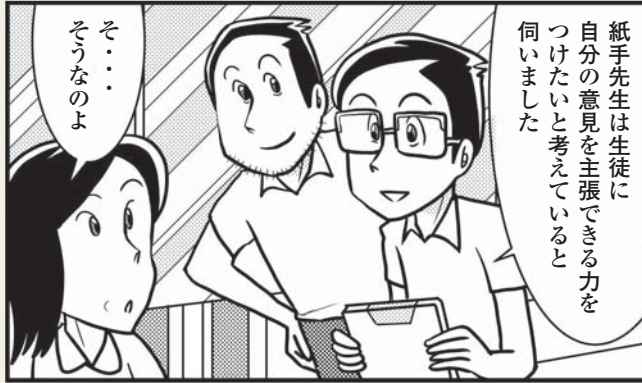
思考力・判断力・表現力等の育成







生徒がタブレットでプレゼンをするという学習はどうでしょうか？



そ…
そうなのよ

紙手先生は生徒に自分の意見を主張できる力をつけたいと考えていると伺いました



もうすぐ選挙だから主権者教育を絡めてはどうかな？

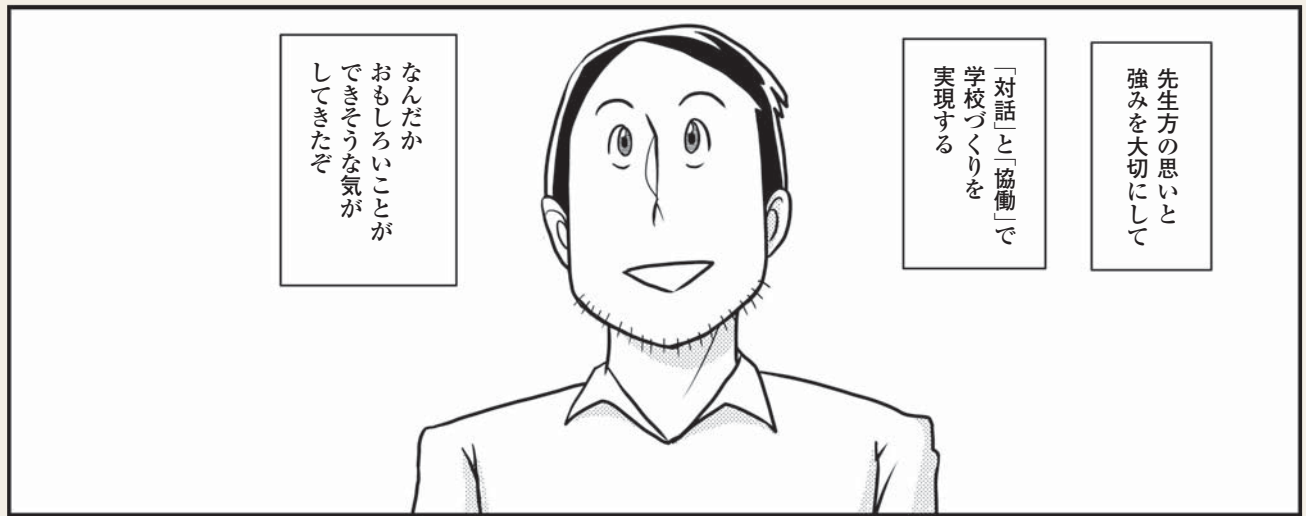


それだったら…



おもしろそうね！
でも…

何についてプレゼンするかだよ



なんだかおもしろいことができそうな気がしてきたぞ

「対話」と「協働」で学校づくりを実現する

先生方の思いと強みを大切にして

前田先生の著書



前田先生自身の経験などをもとに、現代の教員や学校の在り方をリアルに問いかけた「まんがで知る教師の学び (1~3巻)」 「まんがで知る未来への学び」(いずれもさくら社刊)が好評発売中。「まんがで知る未来への学び2」は今秋刊行予定。

作者・前田先生からのメッセージ



前田康裕先生

熊本大学教職大学院准教授。1962年熊本生まれ。熊本大学教育学部美術科卒業。岐阜大学教育学部大学院教育学研究科修了。公立小中学校などの教諭、熊本市教育センター指導主事、公立小学校教頭を経て2017年より現職。教員向けの研修会などで活躍中。

「生徒を成長させたい」は教員共通の思いで、そのなかでやりたいことは人それぞれです。組織で協働する際、リーダーシップが重視されがちですが、リーダーを支えるフォロワーシップの方が重要だと思います。私自身、学校現場での研究主任時代、役割だからと突っ走ってしまいうまくいかなかった経験があったので、教頭になったときには、先生一人ひとりに「何をやりたいか」を聴きました。対話してみると想像もしていなかったそれぞれの思いを知ることができ、信頼関係を築ききっかけにもなりました。思いは聴かれなければ語る機会がありません。皆さんも同僚と話してみること、学校を動かす道標を見つけれられるかもしれません。